

福井大学生のためのふくだいプレス Vol.23

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-12-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 福井大学広報センター メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10098/9104

福井大学生のための / ふくだいプレス

創造力、実践力。
国立大学法人
福井大学

VOL.23
2015 OCTOBER



特集

教職大学院って どんなところ？

学生広報スタッフ企画 We♥福大

耳をすませば聞こえてくる 思い出の曲

Contents



2 福大生が課題に答える 福大生ナウ

4 特集 教職大学院ってどんなところ？ — 福井大学教職大学院 —

座談会 拠点校で学ぶ意味

学長メッセージ 「学び」について思う

9 世界にイノベーションを
研究者紹介

12 がんばる学生を紹介
FACE

14 部・サークルを紹介する
It's My Circle

16 就活応援情報
福大生の就活ノート

18 卒業生から在学生の皆さんへ受け継がれる
学びのバトン

19 Global IMAGINEERへの道をサポート
go go global!

20 学生広報スタッフ企画
We♥ 福大

22 大学の最新情報をお届け
福大Topics

23 福井大学基金 寄附者ご芳名

24 学務部からのお知らせ

表紙について



(左から)

建築建設工学科4年 角田 貴也
建築建設工学科4年 藤田 彩音
機械工学科3年 松尾 颯人
博士前期課程 原子力・エネルギー安全工学専攻2年 田中 直仁
博士前期課程 原子力・エネルギー安全工学専攻1年 グエン・フン・ハー
機械工学科3年 土井 武志
建築建設工学科4年 武田 尚史
博士前期課程 原子力・エネルギー安全工学専攻2年 吉田 翔太
建築建設工学科4年 飯田 有希
原子力・エネルギー安全工学専攻 鈴木 啓悟 講師

全国の大学生が鋼橋模型を製作し、設計・架設などを競うJapan Steel Bridge Competitionに出場した工学部有志メンバー「Team S」。今年は、山に橋が架かる景観を表現した「Mt. Bridge」で出場。シンプルな構造にし、使用部材を少なくしました。昨年の3位という成績には及びませんでしたが、来年に向けて新たな挑戦が出来るそうです。

お題に対し、福大生に答えてもらうコーナー！

福大生ナウ

今号のテーマ

あなたの思い出の 給食はなあに？

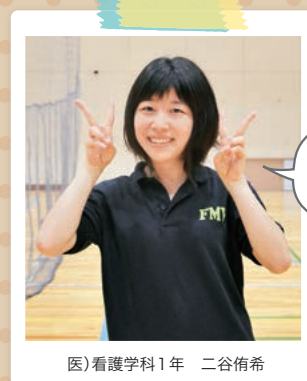
教育実習で学校給食を食べた学生さんかもしれませんね。
やはり、秋といえば食欲。大人になってもやっぱり食べたい、
懐かしの給食を思い出してみませんか。
生協さん、良いものがあれば、メニュー化のご検討を！



(工) 建築建設工学科2年 納谷昌宏



(左) 工) 建築建設工学科4年 尾野加朱実
(右) 工) 材料開発工学科4年 山崎拓馬



(医) 看護学科1年 二谷侑希



(左から時計まわりに)
教) 地域科学課程4年 三上結以 三田村友衣
教) 地域科学課程3年 浅井 望 ザン・ハイユン 藤崎由莉



(左) 医) 医学科3年 西 若奈
(右) 医) 医学科3年 高久直子



(左) 医) 医学科3年 石川樹美
(右) 医) 医学科3年 泉 玲央



(左) 工) 電気・電子工学科2年 中西良介
(右) 工) 電気・電子工学科2年 小澤裕太



(左から) 教) 地域科学課程3年 佐々木麻有
工) 生物応用化学科3年 西川裕樹
工) 情報・メディア工学科3年 三國出彩乃



(左) 医) 看護学科2年 小椋香奈
(右) 医) 看護学科1年 村中美公



(左から) 工) 建築建設工学科2年 玉村知哉
工) 建築建設工学科4年 重松克弥
工) 生物応用化学科1年 田伏正弥

5つの特徴

福大教職大学院はこんなところ！

1. 学校の直面する課題に焦点を当てた協働研究を支援します。
2. 大学教員がチームでバックアップします。
3. 大学教員は幼・小・中・高・特別支援の学校現場へ出向きます。
4. 学校行事等に配慮した集中的な講座を開設します。
5. 全国の教職大学院や優れた実践とつながります。

教師同士の学びの場「ラウンドテーブル」

教職大学院生や現職の教員が子どもたちの豊かな学びを支えるために、日頃の学校現場の課題や学校の活性化について福祉や社会教育など、幅広い専門家の方も交えて議論しています。全国からの参加もあります。



4,5人のグループで議論します



授業の実践研究をしています



学校での実践についてポスターセッション



教育学で世界的に有名なアンディ・ハーグリーブス教授を迎えて

海外からも 学びに来ています！

フィリピンのデラサール大学で数学教育を指導し、また小中学校の教壇にも立っていました。フィリピンの学校は、アメリカの方法を取り入れた教育が主流で、なんとなく違和感がありました。同じアジアである日本の教育水準の高さが気になり、たまたま参加した学会で福井大学教職大学院の先生と出会い、拠点校と大学院でバランスよく学ぶユニークなスタイルに感銘して、留学を決めました。フィリピンの学校では、1限から6限まで休憩がなく、連続して授業が行われていますが、日本では休み時間を挟みながら、効率よく授業が行われ、生徒の集中力が全く違うことを実感しました。フィリピンの大学で、「学校拠点方式」と日本の教育文化を取り入れた教師教育を実践することが私の目標です。

スクールリーダー養成コース1年 マグラブナン・ポーリーンさん



2016年4月、 21世紀の学校を創る 学校改革マネジメントコース開設予定

NEWS!

学校の組織マネジメントの中心となる教員のためのコース。新しい時代の学校づくりのマネジメントについて、実践と理論を結び協働研究を通して学び実践力を培います。

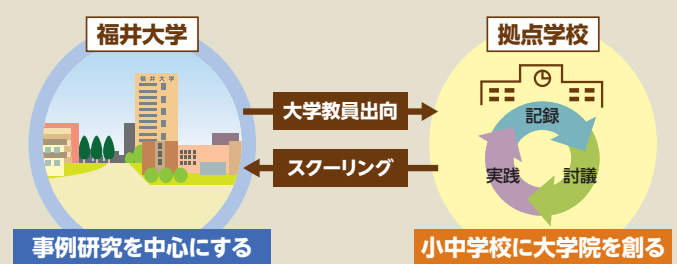
学び続ける教師を育てる

教職大学院って どんなところ？

— 福井大学教職大学院 —

教職大学院では >>>>>

ほとんどの大学院は、大学で講義・研究を行っていますが、教師教育研究を行う福井大学教職大学院は、実際の小中高の学校を「実践の場」、大学を「事例研究の場」として学ぶ「学校拠点方式」で教員を養成しています。この方式は福井大学独自のもので、全国・海外から注目されています。



福大教職大学院には2つのコースがあります

教職専門性開発コース

希望する校種でのインターンシップを週3日行います。毎週木曜日には、インターンシップの振り返り、授業計画や教育改革に関する文献を読み視野を広げます。月1回はスクールリーダー養成コースに所属する現職教員の院生と省察する、つまり学びを振り返るカンファレンスがあり、高い教師力を身に付けます。

- ✓ 教師としての信念と自信を持って教壇に立てようになります。
- ✓ 教員採用試験対策を全面バックアップします。
- ✓ 小学校教員免許取得プログラムで新たに免許を取得できます。

1年次は拠点校でのインターンシップを行い、年間を通じた授業・生徒指導・学級経営などを体験、カンファレンスで先生や他の院生と共に学びの価値づけをしていきました。現在は課題に基づいた授業の関わり方などについて研究をしています。



教職専門性開発コース2年 田中 紗衣里さん

スクールリーダー養成コース

学校長等の推薦のあった教諭が将来、勤務校の教育を改革する中心となり、学校をリードするための力を高めます。教職大学院のスタッフが勤務校に出向くので、実際の教育に携わりながら、協働で実践研究を進めることができます。学び続ける院生の姿から他の現職教員たちも「協働」や「省察」といった実践を目にすることになります。

- ✓ 2年間、学校で勤務しながら学べます。
- ✓ いじめや不登校など、学校で抱える現実の課題をテーマに研究します。
- ✓ 教職大学院の教員が勤務校に出向き、協働で学校の課題を研究します。

丸岡南中学校で勤務して4年目になります。本コースでの協働研究を通して、本校の学校文化である「地域連携」や教育実践のあり方について理解を深めています。今後2年間で学んだことを教育活動に還元し、より質の高い指導をめざします。



スクールリーダー養成コース1年 大黒 康弘さん

拠点校での学びのアルバム (丸岡南中学校)



教科別のメディアセンターは、授業の振り返りをしやすく、生徒の質問にも応じやすい雰囲気がある。



教職専門性開発コースで現職の先生と実践をする院生（上は理科、下は数学）



なのですが、本校を参観した先生から『教え合いと学び合い』の違いは何かと聞かれ、答えにつまったことがありますが、早速、大学院で問題提起をし、「生徒同士が教えることも、教え合うことも、立派な学び合い」という結論を導くことが出来ました。

また、大学院に通っていた当時は教務主任になったばかりで、生徒指導面の悩みも抱えていたのですが、同じグループの院生に相談したことで解決につながりました。経験豊富な先生からの確かなアドバイスをいただけるのも大学院の魅力ですね。

北川 出身大学が教員養成課程ではなかったため、教育実習の機会が少なく「このまま教師になって大丈夫だろうか」と不安を抱えていたとき、福井大学教職大学院の説明会で1年間、拠点校で実践できることを知り、進学を決めました。

大学院の先生、現場の先生に相談をしながら授業の構想を考え、実践力を身に付けています。大学院ではさまざまな分野の先生方と出会えるの

で、見える世界が広がった感じがします。

大学生のときは講義が中心でしたが、今は現職の先生の姿を側で見ながら学ぶことができるので、以前よりも明確に教師像を思い描けるようになりました。

森 北川さんのような教職専門性開発コースの院生は、週に一度大学に集まり、小グループで語り合います。そこで各自の実践の省察を繰り返して、課題解決の糸口を探ります。

高嶋 本校を拠点校にした院生も、1年目はそれほど将来像が見えていないように感じることがありますが、生徒と一緒に過ごして、周りの先生に意見をもらい、振り返りをしているうちに目指す教師像が固まってくるようです。

実践を通して理論を確立「学び続ける」大切さ

中村 教職大学院では「学び直し」をする機会をいただきました。大学院に入らなければ、教師人生を振り返ることもなかったと思います。

北川 教職大学院では全国の先生と交流を持つことができ



丸岡南中を拠点校に学んだ修生の研究報告書

ます。さまざまな事例を知ること幅広い知識が身に付き、自身の成長を実感できます。

森 理論を実践に適用するという考え方がありますが、私たちは教育の方法を学校現場での実践を通して理論化します。大学院修了時には、集大成として研究報告書を作成するのですが、これはまさに「自分だけの教育理論書」です。

教師は「学び続ける」ことが大切な仕事です。そのためには、学校から離れない院生である必要があります。教職大学院は教師が学び続けるために非常に有効な手段だと思います。



座談会

拠点校で学ぶ意味

福井大学教職大学院の拠点校である坂井市立丸岡南中学校で、高嶋健一校長と中村敏明教諭、教職専門性開発コースの北川優佳さん、本学の森透教授に、教職大学院の現状や拠点校で学ぶ意味について語ってもらいました。

教職大学院は「現場で学ぶ」拠点校で院生が活躍

森 本学教職大学院の大きな特徴の一つは、院生が学校現場（拠点校）で現職の先生と一緒に学び合うことです。拠点校は現在18校あります。丸岡南中学校には平成20年度から拠点校をお願いしています。

高嶋 拠点校としてのメリットは大きいです。本校では毎年、自主研究発表会を開催するので、スクールリーダー養成コースを修了された中村先生は、本校の課題を大学院の研究テーマとして取り上げ、フィードバックしてくれました。学んだ知識や経験をほかの先生も共有できるので、指導力の底上げにつながっています。

教職専門性開発コースの北

川先生は、教科はもちろん部活動の指導にも熱心で、即戦力として活躍しています。本校は教科別に生徒が教室を移動する「教科センター方式」を採用しており、教科別の学習拠点となる「メディアセンタール」があります。同コースの先生たちは、このメディアセンタールの運営も積極的に提案してくれ、学校に良い刺激を与える存在でもあります。

振り返りをする中で将来像がより明確に

中村 教職大学院のメンバーは、教育への情熱をお持ちの方ばかり。納得いくまで話し合うことができるので、とても楽しく、多くの気づきがありました。

丸岡南中学校の研究テーマは「学び合う学校文化の創造」

教職教育学研究科
森 透 教授
教職大学院の院生と協働して大学内外で指導。



教職専門性開発コース(理科専攻)2年
北川 優佳 さん
丸岡南中学校では男子テニス部の指導も。



丸岡南中学校
高嶋 健一 校長
丸岡南中学校に赴任して3年目。



丸岡南中学校教務主任
中村 敏明 教諭
スクールリーダー養成コース修了。(平成26年度)





さまざまな観察で 植物の目に見えない実態を掴む!

植物を分類する

さて、いきなりですが、キャベツ、ブロッコリー、レタス、カリフラワーの中で系統が異なるものはどれだと思えますか。これらの野菜は小中学校の理科の授業でも触れているものですが、理科教育を学んでいる学生にも難しい問題です。花や葉の形、色、根のつくりなどいろいろな角度から観察して仲間分けをしますが、このように観察だけでは解らないこともあります。

学生時代に植物の魅力にとりつかれる

私はフィールド調査をして様々なアプローチから植物の生き様を知ることが好きで、生物の進化や分化の道筋に基づいて植物の多様性を研究する植物系統分類学を主な研究分野にしていま



マムシグサ(蓼草)



教育地域科学部 理数教育講座

西沢 徹 先生

Toru Nishizawa

す。もともとは漠然と理科の教員を目指して教育学部に入りましたが、高校時代の生物の恩師から同じ大学の理学部に植物を研究している同郷の先生がいるということを知り、聞いて会いに行き、そのままその教授と意気投合し、白山の調査などに押しかけ参加していました。何十年も分布が不明だった植物の調査をしたり、他の山の生物多様性と比較をしたりと貴重な経験をすることができ、そのまま植物にとっぴりとハ

植物の繁殖について研究

マツてしまいました。より植物を深く学びたいと修士課程は理学部に進み、もっと深く知りたいと博士課程、ポスドクと進むうちに研究者になっていました。

私は主にテンナンショウ属のマムシグサという植物の繁殖様式や性転換の進化に関する研究を行っています。動物の性転換は不可逆的ですが、この植物の場合はある年は雄に、ある年は雌、ある年には無性にもなるなど何年と生きる間、毎年違う性を見ることがあります。こうした植物の繁殖の実態を明らかにしていくのですが、フィールド観察だけでは、肉眼で見ることができない現象を追跡することができません。例えば次世代に残す子孫の数は、雌ならば結実した種子の数で解りますが、雄としてどれだけの種を残したかは観察ではわからず、長年推測値で研究されてきました。しかし技術や機械の進歩、小型化のおかげでDNA鑑定を一つのツールとして研究に利用できるようになり、観察では解らない違った事実が見えるようになりました。フィールド調査も楽しいけれど、こうしたツールによってこれまで目に見えなかった現象を追うことができるのは研究の面白いところです。

教員の部屋に飛び込む!

研究者の道に進むことになったのも

ハマっていること★

飛行機の写真を撮るのが大好きです! 子どものころ地元飛行場に連れて行ってもらったのがきっかけで(空港のアイスクリーム屋でアルバイト) 好きになりました。しかし最近行く時間がなく、ストレスが溜まっています。写真は初秋の旭川空港で撮影したMcDonnell Douglas MD-81。リアマウンテンジェット最高! 最高!



学長メッセージ



「学び」について 想う

学長 眞弓 光文

過去に類のない少子高齢化を迎える中、何ら資源のない我が国がこれからの持続的な繁栄を遂げるには、国民一人ひとりの能力を引き出し、それを高めて、自ら何が課題であるかを明らかにし、その解を見つけたすことのできる、真に力のある人材を育成して、知識基盤社会におけるグローバルな競争を乗り切っていくかなばなりません。この中で教育の果たす役割は極めて重要なことから、大学に大きな期待が寄せられており、福井大学もこれまでから、優れた教育こそ果たすべき最も重要な使命と位置づけ、その実現に努めてきました。よく知られているように、福井県の小中学生の平均学力は日本トップクラスです。これには、学校で優れた授業が行われているということ以外にも、学校から出される多くの宿題に対応できる良

真に力のある人材とは、
他者を思いやる心を
持った人です

好きな家庭環境など、複数の要因が関与しているといわれますが、福井県の小中学校教員の教育力、教師力の高さが大いに貢献していることはいうまでもありません。福井県の小中学校教育の現場には、新人の教員が高い教育力、教師力を獲得していくことを支える様々な仕組みや取り組みが用意されていますが、福井大学は、この教員の教育力、教師力を高める取り組みにおいて、これまでも重要な役割を担ってきましたし、これからもますますその貢献度を高めていきます。

我が国の置かれた厳しい状況に鑑み、学生諸君は、あらゆる学びの機会を捉えて、自分の力を高める努力を継続してください。同時に、その学びの中で、他者を理解し、思いやる心を育てていくことを願います。真に力のある人材とは、高い能力を有すると共に、他者を思いやる心を併せ持つ人であるということを肝に銘じ、福井大学での学びの機会を大切に、我が国や世界の次代を担う人材に育っていただくことを願っています。



日々の学びを大切に

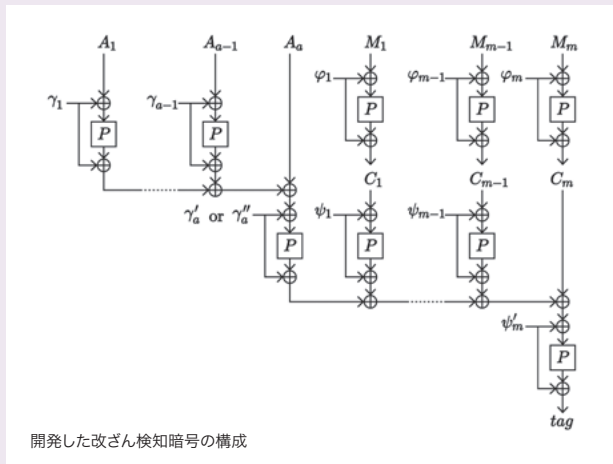


本学学生の教育実習

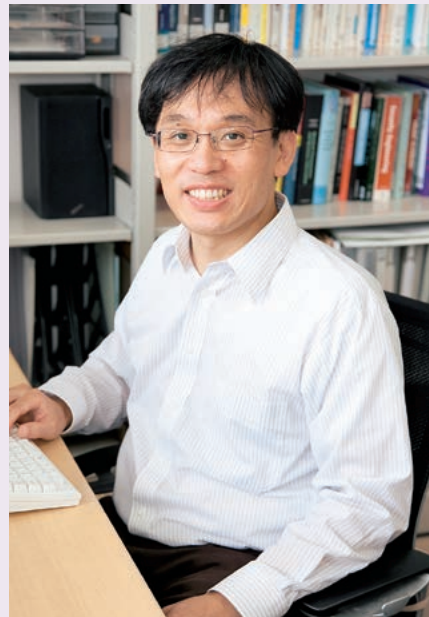
暗号で安心・安全なシステムづくりに寄与する

オンラインショッピングサイトで欲しいものがあれば、クリックひとつで買えてしまう便利な時代。そのようなサイトを利用するときには、パスワードやクレジットカード番号、住所などの個人情報を入力しますが、情報の安全性がどのようにして守られているか気になったことはありませんか。

インターネット上でやり取りされる情報の安全を確保するには、第三者による情報の盗聴を防ぐ秘密保持と情報の改ざんを検知する機能が不可欠になります。システム全体の安全性は、この2つの機能をうまく組み合わせた「改ざん検知暗号」技術で高めることができます。



新しい改ざん検知暗号の開発
私は、NTT、三菱電機と共同で、安



大学院工学研究科 電気・電子工学専攻

廣瀬 勝一 先生
Syoichi Hirose

世界標準を決定するコンテスト

この新たな改ざん検知暗号を現在、米国標準技術院(NIST)が支援する暗号評価プロジェクト「CAESARプロジェクト」に応募しています。暗号技術の安全性は数多くの攻撃に長年にわたり耐えることで信頼を得ることができます。2014年3月の応募総数は57件ありましたが、今年7月に公表された一次審査結果では30件が残

全性と処理速度を両立させた利便性の高い改ざん検知暗号の開発に取り組みました。今回の開発で、基本的な暗号演算を組み合わせ、秘密保持と改ざん検知を実現する「暗号利用モード」と呼ばれる方法の解析をしました。情報セキュリティが脆弱な状態のところに攻撃者が現れても、秘密保持と改ざん検知で安全性を確立するのです。基本的な暗号演算を専門用語では、「プリミティブ」と呼びます。改ざん検知暗号の開発では既存のプリミティブを使うことが少なくありませんが、今回は、一から作りました。

この方式は利用時の制約を大幅に抑え、パソコンなどのコンピュータばかりでなく、スマートフォンやICカードのような手のひらサイズのデバイスでも処理速度を高めることができました。処理速度の向上には、方式の工夫と高度なプログラミング、回路設計のテクニックも必要です。



★ハマっていること★

数年前から朝に豆を挽いてコーヒーを飲むようになりました。特に好みはないので、いろいろな豆を試して味の違いを楽しんでいます。最近は緑茶も挽いてみたいと考えています。

家族の元気が、患者さんの治療や暮らしを支える



医学部看護学科精神看護学領域

川口めぐみ 先生
Megumi Kawaguchi

100人に1人がかかる統合失調症

統合失調症は、幻覚や妄想などの「陽性症状」、意欲の低下などの「陰性症状」、臨機応変に対応しにくい「認知機能障害」などが特徴的な症状の精神疾患です。症状の進行に伴って、「自分が病気である」ということが自覚できなくなり、日常生活が困難になります。100人に1人がかかるとされている頻度の高い病気ですが、原因は、明らかではありませんが、ストレスに対するもろさや環境、遺伝的要因など、いくつかの要因が合わさって発症すると考えられています。10代後半から20代で多く発症し、急性期と休養期を繰り返す慢性の経過をたどります。

治療には長い期間を要し、治りにくい病気と考えられていましたが、現在

では、治療効果の高いまざまな薬剤が開発され、早期に薬物治療を適切に継続し、生活能力を高めるリハビリを並行して行うことで、地域の中で日常生活を送ることが出来るようになってきています。医療者は、治療をしっかり行くと同時に、患者さんが再発を繰り返しながらも、根気強く治療に取り組めるよう、家族を含めて支えることが非常に重要です。

病気をもちながら、地域で暮らすために

若い患者さんのお世話をするのは、主に親になります。しかし、親は、自分の子どもが病気になってしまったという絶望感や自責感、将来に対する不安などさまざまな思いを抱えています。これまでの研究で、統合失調症の患者さんをお世話している親の負担感につ

いて調査をしたところ、親が子どもの病気に対して「あきらめ」や子どもを「回避」しようとする気持ちが生まれてくると、負担感を大きくすることが明らかになりました。

看護師は、患者さんやその家族と悩みを打ち明けてもらえるような関係づくりに努め、家族が、先が見えなくなつて「あきらめ」たり、患者さんを「回避」してしまふ前に適切なサポートをする必要があります。病気に対する地域の理解を促進し、福祉サービスの活用など地域の中で患者さんが病気から回復できる力を発揮できるように基盤を整えることも大切です。



卒業研究に取り組む学生さんと



★ハマっていること★

昨年の家族との長野旅行をきっかけにアウトドアにハマっています。今年はまだキャンプ場にある家電付きのバンガロー泊というヒギナーですが、今後テント泊やアウトドアッキングに挑戦したいです。

え、そのような看護支援プログラムを構築したいと考えています。

自分の心の健康に気を配る

「精神疾患は誰かがかかる可能性のある病気」であり、「早期発見・治療により地域の中で日常生活を送れるようになる疾患」であることを知ってもらうことが、地域が患者さんを受け入れるために重要だと考えています。看護学生さんには、今後病気にについて広く知ってもらえるように働きかけていってもらいたいと思います。また、患者さんやその家族をサポートするためには、自らが心身ともに健康であることがとても大事です。自分の健康を第一に、その上で患者さんや家族に元気を与えられるような看護師を目指してください。

全日本学生フォーミュラ大会に出場

福井大学フォーミュラカー製作プロジェクト(FRC)

全日本学生フォーミュラ大会は、フォーミュラカーの構想・設計・製作、車両の耐久性や走行性能、車両コンセプト、コスト、プレゼンテーションなど総合力を競います。9月1日～5日に静岡県で行われた大会には90チーム(国内75、海外15)がエントリー。本学は今回で10年連続の出場となり、21名のメンバーで製作に取り組んでいました。

今年のマシンの特徴は、車がカーブの遠心力で外側に大きく傾くときに、車輪のサスペンションの運動をスムーズにするスタビライザーを導入しました。審査では、走行性能などの「動的審査」と設計やコストなどの「静的審査」があります。が今年はパワーアップしたマシンで、「動



動的審査中の走行



全種目を終了したメンバー

的審査」において、全ての種目を走破することを目標に大会に挑みましたが、大会当日は、台風の影響で悪天候。耐久走行では、ハンドルが利かなくなるアクシデントに見舞われ、20周のうち、17周目でリタイアとなりました。しかし、静的審査では、企業の方にプレゼンの内容を納得してもらえようという心がけ、コスト面に配慮したことを強調し、86チームのうち、25位と昨年より良い結果を残すことができました。

代表の藤井さんは「マシンの製作には余裕を持ったスケジュールが重要。走行上の課題を早く見つけることが、次のステップになる」と、今回の経験を来年への挑戦につなげる意欲を見せてくれました。

人を通して本を知る。 本を通して人を知る。

ビブリオバトルin福大開催!

皆さん「ビブリオバトル」ってご存じですか? まだまだ知らない方も多いと思います。

このビブリオバトルは「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をキャッチコピーに日本全国に広がっている、簡単なルールを守れば誰でも参加できる本の紹介コミュニケーションゲームです。福井大学でも、平成26年の10月の初開催以来、これまで福井大学学生協会の3部が中心となって3回行われ、全国大会の予選会も行っています。

運営の中心メンバーである工学部材料開発工学科2年の谷口典穂さんは、「あまり読書が好きではない人が本に触れ、読書好きがおすすめの本を紹介する場があったらいいなと思っていた」と開催の理由を語ってくれました。本を紹介する人



バトルの様子

公式ルール

- 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる
- 順番に一人5分間で本を紹介する
- それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う
- すべての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか?」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする

FACE

がんばる学生を紹介

※本頁に掲載されている方の所属、学年等は取材時のものです。

外国人児童生徒の学習をサポートする ボランティア活動

外国人児童生徒への教科・母語・日本語相互育成学習事業

福井大学の地域貢献事業の一つに、学生が外国人児童生徒の学習をサポートする活動があります。

外国人の親を持つ児童生徒は、学校では日本語だけでなく家庭で使用する言語は親の母語となることが多く、日本語の習得状況が環境によって変わってきます。生活に必要なレベルの日本語は問題ないけれど、学習に必要な読み書きが難しい場合もあり、両親が宿題を見てあげることができず、学年が進行するに伴い徐々に学習についていけなくなるそうです。

この活動では、こうした児童生徒の母語を大事にしながら、日本語での学習をサポートすることを目的としています。学生が小学校や中学校などで、放課後に出身国が同じ留学生とチームを組んで児童生徒の母国のことを話したり、宿題や授業でわからなかったところと一緒に勉強したりします。公民館で他のボランティアスタッフと一緒にサポートするケースもあり、パスルを使っている日本語学習などユニークなアイディアをもらいながら進めているそうです。活動のスタート時から参加している教育地域科学部3年の片川絵里奈さんは「子どもと共通言語が少ないときは話



「夏休み日本語サポートクラス」の様子

すのも教えるのも大変です。でも、話を通じた時はとても達成感があります。支援が必要な子どもたちのため活動を広げたい」と語ってくれました。

夏休みには福井県国際交流会館で夏休みの宿題をサポートする「夏休み日本語サポートクラス」にも参加。教育地域科学部3年藤田奈央さんは「日本語をあらためて教えるのはとても難しいです。でも日本人の子どもと違った考え方を知ることができ、自分の世界が広がります」と活動の意義を教えてくれました。

「Enjoy-」

環境に感謝しながら楽しむことを忘れずに

医学部晩祭実行委員長 波川隆之介さん

今年35回目を数える医学部晩祭。10月10日・11日の2日間、松岡キャンパスで開催されます。医学部の3年生と看護学科の2年生の全員が参加して、広報や設営担当などそれぞれの部門に分かれ準備に取り組んでいます。今年、晩祭実行委員長を務める医学部3年の波川隆之介さんは、周囲から推薦されて実行委員長を引き受けることになりました。「正直はじめは乗り気じゃなかった」という波川さんですが、それぞれの部門長と連携しながら、企画などの話を進めていくうちに、「晩祭が形作られていくことが楽しくなってきました」と今ではすっかり実行委員長の顔に。「大学内外の様々な人たちと関わる中で、学ぶことも多いです」と話しています。

今年のテーマは「Enjoy-」。晩祭に関わる学生全員が恵まれた環境を与えられているということに対する感謝の気持ちを忘れず、その上で思いっきり楽しもうという気持ちで決めました。

企画では、ここ数年続けてきたお笑いライブを2日間連続のアーティスト・ライブに変更。それぞれの年の実行委員が自由に晩祭を作ることができるようにとの思いからです。「晩祭の



昨年の晩祭にて

イベントが、固定されたものではなく、選択肢を増やしたかった」とその意図を話してくれました。「医学部の学生だけでなく、文京の学生や職員さん、今まで松岡キャンパスに来たことのない地域の皆さんにもお越しいただき、楽しんでほしいです!」と話しています。

実行委員会の思いの詰まった晩祭。行ったことのない皆さんも今年は松岡キャンパスで晩祭を「Enjoy-」してみてもいいかもしれません。

現在の登録数
 【文京】体育系49／文化系32
 【松岡】体育系23／文化系20

*It's My Circle

学内には体育系・文化系あわせて130近くの部・サークルがあり、福大生の半数以上が所属しています。
 超有名な!? サークルから意外と知られていないサークルまで、さまざまな部・サークルをご紹介します!
 ●『It's My Circle』に登場したいサークルのみなさんは広報室までご連絡ください。E-mail:sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp

医学部女子バレーボール部は、昨年の西日本医科学学生体育大会（西医体）は準優勝、今年はベスト4と、例年好成績を残しています。西医体後に4年生が引退し、現在は医学部1〜3年生24名で活動しています。新チームが発足したばかりということで、主将の医学部医学科3年の矢田友紀さんは、「今は休み明けで体を戻しているところです。新チームでレギュラーが入れ替わったので、9月の北陸三県秋季大会、11月の東海医歯薬科大学対抗の二つの大会を通してチームを作っていきたいです」と話しています。

わいわい楽しく、そして強く！
 レー部ですが、練習では、経験者が初心者にあドバイスをしながら進めています。マネージャーも飲み物の準備からタイムキープ、球拾いまでプレイヤーをしっかりサポートしています。女子だけの部活動なので、休憩中にも賑やかな女子トークが聞こえて、雰囲気はまさに女子会！「とても仲が良くて、部活のない日でも、カフェに行ったり、旅行に出かけたり、部員同士が一緒にいることが多いです」と矢田さん。練習後には、「ごはんを食べに行ったり、部員の誕生日には、部員みんなでケーキを用意してお祝いするそうです。仲の良さはヒカイチの女バレー、女子力も実力もますますアップが期待できそうです。」



弾ける女子力！

医学部女子バレーボール部

【活動日】火・木・土

【練習場所】松岡キャンパス体育館

【部員数】24名

Twitter

<https://twitter.com/fukuimedvolley>



新チームでのポジションが発表されました！



9月から始動した新チームでの練習

つなげて、つなげて、ゴールを目指す！

福井大学の女子ラグビー部は、今年の6月に創部したばかりでプレイヤー3名、マネージャー2名の計5名。7人制の試合をする人数には達していませんが、実は北陸以外の他府県では、女子ラグビーが人気沸騰中とのこと。愛知県出身で名古屋レディスRFCに所属する部長の石渡汐織さんは、「福井でも女子ラグビーの楽しさを広めたい」と入学してまもなく創部を決意。そして、2018年の福井県には、県選抜として出場するという目標を立てました。

もっている力を出し切る爽快感を味わうことができます。「だからこそ、チームメイトの絆は深まり、また対戦チームのメンバーとも全力でプレーするからこそ達成感を味わえる」と石渡さん。選手同士がタックルでぶつかり合うので、危険なイメージを持たれることもあるそうですが、野球やテニスなどのスポーツにも怪我はつきもの。とりわけ、ラグビーに怪我が多い訳ではないのでご安心を、とのこと。ラグビーをする人は、ラグーマン。女子の場合は「ラガール」。ラグーマン同様にラガールたちは、試合終了後にお互いの健闘をたたえるアフターファンクションをするのが恒例となっています。持ちよりパーティや当地メニューを楽しむなど、アフターもバッチリです。



写真：福井新聞社提供

楕円球にける青春！

女子ラグビー部

【活動日】土曜日 9:00～12:00

【練習場所】松岡キャンパスグラウンド

【部員数】5名(募集中!)



ステップ

部員募集中！

ボールが好き！走るのが好き！ラグビーは、そんな女子にぴったりのスポーツ。一緒に楕円球を追いかけてよう！



タックル



アフターファンクション

学生が企業・官庁の人事担当者へ、会社の魅力や特長、求める人物像などをインタビュー。あなたの学生生活を有意義に過ごすためのポイントが隠れているかもしれません。今回は本学教育地域科学部OGで、損害保険ジャパン日本興亜福井支店の長谷川美沙さんに学生3名が取材しました。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

基本情報

所在地：東京都新宿区西新宿1-26-1
社員数：27,144名
事業内容：国内損害保険事業、国内生命保険事業、海外保険事業 ほか

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

代理店の営業を支援

「仕事内容について教えてください。」
2014年9月に損保ジャパンと日本興亜損保が合併してできた損害保険会社です。福井支店の業務は主に二つで、一つは損害保険の営業、もう一つは保険金サービス業務です。

私の所属は営業部門です。営業とは言っても、お客さまに直接保険商品を販売することではなく、保険代理店を通じて間接営業が主です。具体的には、代理店と一緒に営業推進を行ったり、講習会を企画したりして、代理店を支援しています。また、支店内の人事・総務関係の仕事もしています。

保険金サービス部門では、事故に遭われたお客さまの損害を調査して、契約内容に沿った保険金をお支払いするまでの手続きをトータルにサポートします。深い知識と経験が求められますし、細やかな気づきがいも必要ですが、それだけにやりがいがあります。

多様な働き方ができる

「貴社の魅力はどんなところですか？」
世界32カ国・地域、210都市に進出しているグローバル企業なので、ダイ

ナミックなビジネスが経験できます。また、転居を伴う転勤のない「総合系エリア職」もあり、ライフスタイルに合わせた働き方ができるのも魅力です。

特徴的なのは、配偶者の転勤などに合わせて勤務地を変更できるキャリアトランスファー制度です。家庭の事情があってもキャリアを中断しなくて済むので、長く働き続けられる環境といえます。

また、先輩社員が若手社員をサポートするサポーター制度もありますので、新入社員には心強いですね。

人のサポートにやりがいを感じる

「どんな人材を求めていますか？」

当社の採用基準は「チームのパワーの最大化を図れるリーダーシップがある人」「お客さまの声・社会の変化を真摯に受け止める誠実さがある人」「自ら考え学び周囲に働きかけていく行動力のある人」「失敗を恐れず常に高い目標に向かって取り組む挑戦の精神のある人」です。これらに加え「人をサポートすることが好きかどうか」も大切です。私自身、代理店から「講習が役に立ったよ。ありがとう」といわれるととてもやりがいを感じます。

インターシップの活用を

「福大生へのメッセージをお願いします。」
私も昨年卒業の福大OGなので、大学の就職支援室の方にはお世話になりました。何度も行くと顔を覚えてもらえますし、親身に相談に乗ってもらえます。また、実際の職場の雰囲気を知るために、インターシップを利用することをおすすめします。社会人として働く自分をイメージしやすくなるので、モチベーションアップになります。



損害保険ジャパン日本興亜株式会社福井支店
営業・人事担当 長谷川美沙さん

採用担当者を直撃！

就活あれこれ Q&A

合同説明会ではなかなか聞けないようなことを採用担当者にズバリ質問！採用担当者のホントを教えてください。

教育地域科学部地域科学課程
(左から) 田中愛美
松井詩歩
中口優香

Q どんな雰囲気ですか？

A 福井県内では約200人勤務しており、そのうち約7割が女性です。困っていると「どうしたの？」と気にかけてもらえ、とても雰囲気が良いです。

Q 新人研修について教えてください

A 入社後すぐに、ビジネスパーソンとしての力を身につける研修に参加します。新入社員が7人1チームに分かれて、色々な課題・試練を乗り越えていきます。辛いこと、楽しいことを1週間共有しますので、最後はみんな泣いていました。



Q 採用は本社工場ですか？

A 「総合系エリア職」の場合は県内での採用です。福井県内では、営業部門は6拠点、保険金サービス部門は3拠点があり、いずれかに配属されます。福井支店には今年、新入社員が4人入社しました。

Q 保険の営業は大変というイメージがあります

A 組織目標として予算があり、予算達成に向けて皆で取り組みます。保険の内容は確かに難しいですが、実践的な研修がたくさんありますので、心配いりません。

Q 就活前にすべきことは？

A 面接では「学生時代に何をしたか」「今まで一番頑張ったこと」などを聞かれるので、日頃から自己分析をしっかりとっておきましょう。

就職支援室から

就活手帳「FUSTE」を活用しよう！

FUSTEとは・・・

就活の始まりから終わりまで活用できる「福井大学生のための」就活手帳です！

■FUSTEに掲載の情報

- ・学内行事のスケジュール
- ・就活の進め方のノウハウ
- ・採用試験の種類や対策方法
- ・就職時に使えるビジネスマナー
- ・公務員や教員等、民間以外の就職活動 ……etc

お持ちでない方は、
今すぐ就職支援室へ！



スタッフ リレーコラム 第14回

身近なところから自己分析を始めよう！

キャリアカウンセラー 倉本香苗



こんにちは。就職支援室キャリアカウンセラーの倉本です。今回は、就活に向けて、「今」できることについてお話ししたいと思います。

皆さん、夏休みは、何をしてお過ごししましたか？サークル活動やアルバイト等、普段何気なく取り組んでいることも、実はその一つひとつが自己PRに繋がります！そろそろ就活に向けて何かしたいと思つた方、まずはこれまでの経験を「思い出す」ことから始めてみてください。そこから、皆さんの考え方や人柄が浮き出てくるかもしれません。

ん。まさにそれが自己分析の始まり！気負いせず楽しみなから始めましょう。

就活という不安が大きい方もいるかもしれませんが、決して辛いことだけではありません。「楽しい就活」をモットーに、私も精一杯応援させていただきます。

go go global では、毎回学生の皆さんが目指す「Global IMAGINEER」への道をサポートする情報をお届けします。
今回は、夏季休暇中に行われた「短期海外研修プログラム」を紹介します。

短期海外研修プログラム

夏季休暇中に実施した短期海外研修プログラムでは、116名の学生が海外留学を行いました。
そのうち、ドイツと韓国でのプログラムに参加した2名の学生の留学体験記をお届けします。

ハンブルク大学ドイツ語サマースクール
(ハンブルク大学/ドイツ) に参加

【研修期間】
8/1～31

医)医学科2年 小山紗知さん

日本全国から集まる日本人学生約60名、韓国・台湾人学生約40名と1カ月間生活を共にし、ネイティブ講師によるレベル別のドイツ語講座、ドイツ文化体験、歴史的遺産等へのフィールドトリップに参加する語学研修型プログラム。

1 年次に履修したドイツ語クラスの影響もあり、ドイツの文化や街並みを自分の目で見てみたいと思い留学を決意しました。渡航前には、担当の先生やサマースクールに参加した先輩から必要な持ち物や経験談を伺う機会を設けていただき、準備をするのも心強かったです。ハンブルク大学では、平日の午前中はドイツ語の授業を受け、午後は日本語ができるドイツ人チューターさんに授業の復習をサポートしてもらいました。週末にはチューターさんと一緒にハンブルク港の遊覧をするなど、交流を深めました。サマースクールのクラスには韓国や台湾から来た学生も参加していたため、英語が必要になる場面が想像以上に多かったです。相手は英語ができるのに自分は上手く伝えられないことに何度ももどかしい思いをしました。ドイツ語の授業は難しく感じる時もありましたが、講義は一方的なものではなく日本語での補講もあり、先生やチューターさんも支えてくれるので、ドイツ語をしっかりと学びたいと考えている人には最適な環境だと思います。



チューターさん(中央)と(右が)小山さん



参加者と一緒に



ハンブルク港近くの街並み

PKNU International Summer School
(釜慶大学校/韓国)に参加

【研修期間】
8/2～15

工)材料開発工学科4年 大平貴章さん

各国からの参加学生と共に韓国式茶道、テコンドー、伝統音楽、韓国料理等の文化体験や歴史的遺産等へのフィールドトリップを行い、現地学生パティや多国籍の学生と共通言語である英語で交流を行う文化体験・交流型プログラム。

大 学に入学した当時からずっと「留学」、「海外」に憧れをもちながらも、なかなか決心がつきませんでした。このまま留学せずに卒業してしまえば、社会人になってから必ず後悔すると思い、参加を決めました。今回参加したプログラムでは、韓国の国技であるテコンドーの体験やブルコギ作りなどの様々なアクティビティが企画されていました。中でも、釜山湾で帆走したセーリングは、海上から絶景を見ることができ、とても気持ちがよかったです。滞在中、英語で自分の思いや日本のことをうまく伝えられずにモヤモヤしたことは、英語や日本の文化をこれまで以上に勉強しようという強い思いに繋がりました。

留学にあたっては、費用を工面する必要がありますが、両親に留学費用を出してもらい、将来、働いて返すという方法もあるのではないのでしょうか。最初は留学に反対していた私の両親も「せっかくの機会だから行ってこい。世界を見てこい」と励ましを添えて送り出してくれました。絶対に一度は行ってみてください！



セーリング体験(左が)大平さん



プログラム参加者と釜山の夜景をバックに



多国籍の仲間たちと

正義感と使命感を胸に、
100%の力で応えています

福井警察署生活安全課 警部

ま すぎ じゅん こ
真杉 順子 さん

平成7年 教育学部小学校教員養成課程
(現 教育地域科学部学校教育課程理数教育コース)卒業

福井県で初の女性警部

今年3月に、警部として福井警察署に着任しました。県内初の女性警部になります。生活安全課に勤務し、さまざまな相談の対応や少年犯罪の捜査指揮にあたっています。最近では、飲食店による「生しバー提供・販売」の捜査を担当しました。大きく報道されたのでご存知の方も多いと思います。

現在、福井県警の女性警官は約120人で、全体の7%ほどしかいません。圧倒的な男性社会です。県警の女性警官の採用は平成5年からで、私は二期生になります(当時は隔年採用)。最初は交番勤務、それから生活安全課、捜査一課、通信指令室という110番受理の部署も経験しました。新人の頃の忘れられない経験は、時効成立寸前での逮捕劇が話題となった福田和子容疑者(当時)の護送をしたことです。任官3年目で交番勤務をしていたのですが、女性ということで突然呼ばれて、ものすごい数のマスクミでした。福井駅にあればどの人が集まったのは初めてではないでしょうか。逮捕時のテレビにも映っています。

教育実習が転機に

警察官になるうと決めたのは、大学

4年のときです。教師になるつもりで教育実習に行ったのですが、「自分に向いていないかも」と違和感がありました。そんなとき、女性警察官の採用試験があることを知り、興味がわきました。きつと父が防犯隊員として地域の安全を守る姿を見ていたことが影響していると思います。ただ、教育学部の友達はほとんど教師になったので、私のようなパターンは珍しいでしょうね(笑)。

まずは話を聞くことが大切

もちろん、幼児教育や児童心理など、大学で学んだことは仕事に生きています。少年犯罪の立件は罰することではなく、健全育成・更生が目的です。まずは彼らの心理を把握しなければなりません。近年問題となっている特殊詐欺も、人の心の弱い部分を巧妙に突いてくる。「自分は騙されたい」と思っている、気付かないうちに相手の言葉を信じてしまうのが怖いところです。

福井県警には「SWING」という女性だけの性犯罪捜査チームがあり、私も3年間所属していました。被害者の女性は一人で悩みを抱えてしまいがちなので、じっくりと話を傾けることが大切です。性犯罪に限らず、警察署に駆け込む人は解決を求めて来られますから、100%の力で応えます。

幅広い視野で過いってほしい

私のように、転機があつて新たな将来が見えてくることもあるので、福大生みなさんには、幅広い視野で学生時代を過ごしてほしいと思います。いろいろな可能性がありますが、どこに進もうと、大学での勉強、経験は無駄になりません。私は4年間、造園屋さんでアルバイトをしていました。それまで人見知りだったのですが、さまざまな年代の従業員さんやお客さまと接することで自信がつき、誰とでもすぐに打ち解けられるようになりました。警察は、この20年で福利厚生も充実してきましたし、「人の役に立つ」ことを毎日のように実感できる職業です。ぜひみなさんの選択肢に加えてみてください。



卒業旅行のヨーロッパで友達と

♪ ないものねだり (KANA-BOON)

1年生のライブでギターを披露!

私の思い出の曲は、KANA-BOONの『ないものねだり』(2013年)です。軽音部に所属してののですが、1年生のクリスマスに行ったライブで、この曲をギターで演奏しました。当時の私にとっては、実力よりも少し難易度の高い曲だったので、連日、練習、練習、練習の繰り返しで、挫折しそうになった時もありました。でも「自分を成長させたい、もっと技術を磨きたい、そして何よりライブを成功させたい」その一心で練習に取り組み、ライブ当日を迎えました。練習の甲斐あって、演奏は成功。たくさんの先輩達から「上手になったね!」と褒めてもらえて、本当に嬉しかったのを覚えています。この曲は私にとっての原点であり、音楽をもっと好きになったきっかけでもあります。歌詞は少し切なめですが、アップテンポなので聞くとノリノリな気分になります!

医)看護学科 川原彩加さん



自分の足で歩き始めるきっかけに

クリスマスライブは、一年を通して数多く行われるライブ活動の中でも、比較的大きなものです。特に決まっている訳ではありませんが、一年間練習してきた成果を発揮するステージだと思っています。新入生は、軽音部に入学してから一年間、先輩に技術を教えてもらい、曲決めも練習も先輩についていくスタイルでした。でも、このクリスマスライブで私は、「自分の足で歩きたい」と思い、自分を成長させ先歩に進ませるために自分から先輩に声を掛け、バンドを組み、曲を決め、リードして練習していました。入学してから初めて「自ら」活動することができたのが、このクリスマスライブでした。

♪ Moon River (歌:オードリー・ヘプバーン)

弾くときは弾く! 引くときは引く!

私の思い出の一曲は、1961年に世界中で大ヒットした映画『ティファニーで朝食を』の主題歌として、主演女優のオードリー・ヘプバーンが歌ったことで有名な『Moon River』です。この曲は現在もたくさんの音楽愛好家によって演奏され、さまざまなアレンジもされています。子供の頃に家族と一緒にこの映画を見て感動し、エレキギターやギターなどで弾くようになりました。兄や友人の結婚式のとき、前職で軽音部の顧問をしているときにも、いろんな人と一緒に演奏しました。リーダーとして前面に出て物事を推し進めていく(ガンガン弾く)、時には一歩下がって縁の下で力持に徹する(引く=主役が映えるように控えめに弾く)生き方を学ぶことができた曲です。

工)知能システム工学専攻 小越康宏先生



♪ 私は鳥刺し (モーツァルト)

歌サークルで愛唱してました

私の思い出の一曲はモーツァルト作曲のオペラ『魔笛 Die Zauberflöte K. 620』の第1幕に登場する『私は鳥刺し Der Vogelfänger bin ich ja』という曲です。子どもの頃に参加していた歌のサークルでよく歌っていました。もちろん日本語に翻訳されたものですが、この曲は、鳥を女王に献上して暮らす鳥刺しのパパゲーノがパンフルートを吹きながら歌うのですが、当時は歌の意味が分からないまま覚えた言葉やそのリズムが好きでした。

教)地域科学課程 東村純子先生



学生広報スタッフ募集中!

学生広報スタッフを募集しています。福井大学生なら誰でもOK! 広報誌の編集、ブログの作成に興味のある人、大歓迎です。希望する人は気軽に連絡してください。一緒に楽しく福井大学の魅力を発信して広めていきましょう。



広報室なう♪

福井大学広報室 Tel/0776-27-9733
E-mail/sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp

【メールへの明記事項】

タイトル: 広報スタッフ応募

内容: 氏名、学部(研究科)学科(専攻)、学年、住所、携帯電話、E-mail、応募動機

※ご記入いただいた個人情報は学生広報スタッフの活動にのみ使用いたします。

ブログ
「うらら@ふくだい」
更新中

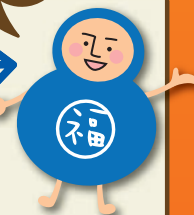


↓ 応募はこちらから



どの曲にも
色んな思い出が
いっぱいまっているね!
知っている曲は
あったかな?

福井大学広報センター
マスコットキャラクター
広福くん



芸術の秋

♪ 耳をすませば聞こえてくる♪

思い出の曲

学生広報スタッフが送りするページ

We LOVE 福大 vol. 19

10月に入り、季節はすっかり秋になりました。今回は学生広報スタッフ史上初、芸術の秋の話題です。人や時代は違えど、音楽は常に私達の側にある。秋の夜長にそんなことを考えてみたり、みなかったり?

♪ ultra soul (B'z)

母の車で大音量へビロテ!

私の思い出の一曲は、B'zの『ultra soul』(2001年)です。中学時代、母の車の中でよく聞いていた曲です。当時あまり身体が丈夫ではなかった私は、体調が悪い時、病院に連れていかれる車の中で後部座席に横たわりながら大音量で聞いていた覚えがあります。ちなみに、母はもともとB'zが好きですが、当時はこの曲にドはまりだったそうです。

教)地域科学課程 八田鈴奈さん



♪ home (木山裕策)

オール男子で必死に練習

僕の思い出の1曲は木山裕策さんの『home』(2008年)という曲です。この曲は高校3年の時に合唱コンクールに向けてクラスで頑張った曲です。僕のクラスは、共学なのに男子だけのクラスで、あまりまとまりのあるクラスではありませんでしたが、みんなで必死に練習し一丸となることができたのを覚えています。結果は4位で、すごく達成感を感じることができ、この時のこともあり大学でも何気なく音楽関係の部活動に所属しています。この曲が今の自分に大きな影響を与えてくれたのだと思います。

工)電気・電子工学科 一谷将樹さん



♪ カプリッチョ (リヒャルト・シュトラウス)

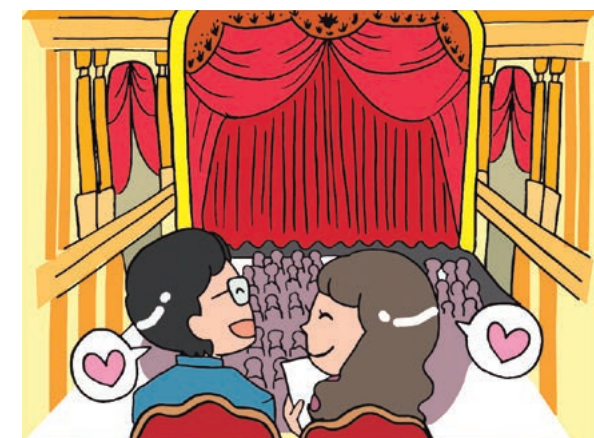
新婚旅行先のザルツブルクで感動

1942年初演、作曲家最後の歌劇です。典雅で憂愁を帯びた弦楽6重奏の序曲が祝祭劇場のオーケストラピットから立ち昇った瞬間、そのあまりの美しさに息をのみました。幕が上がると舞台はデラスに面したガラス張りの白いサロン、上手には本を持った詩の女神、下手には竖琴を持った音楽の女神の大理石像が配置されていました。

終演後、新妻と顔を見合せながら惜しみなない拍手を舞台に送り、興奮冷めやらぬまま外に出ると、そこはまだザルツブルク。夢の世界が終わることはありませんでした。



医)医学科 内木宏延 先生



「オペラは言葉と音楽の融合」を象徴

この歌劇は、「オペラにおいて言葉と音楽のどちらが重要か」という議論を展開していきます。終盤で伯爵夫人マドレーヌの歌うモノローグは特に美しく、詩人フラマンと音楽家オリヴィエから同時に求愛され、「どちらも失うことはできない!」と絶唱します。言葉と音楽が分かちがたく融合して芸術を形作ることを象徴しています。



福井大学基金

学生の皆さんへの修学支援のため、
福井大学基金へ多くのご厚意が寄せられています。
ご支援に対し、心より御礼申し上げます。

今号では、平成27年6月21日から9月11日までの
寄附報告及びご寄附くださいました個人・法人・団体様で
掲載をご了承いただいた方のご芳名(50音順)を掲載させていただきます。
今後とも福井大学基金へより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



福井大学基金の寄附状況 (平成27年9月11日現在)

寄附申込数 1,494件(延べ数)／寄附申込額 8,403万9,776円

個人

相磯 良充 様
相木美那子 様
青木 直美 様
青木 芳隆 様
青山 敏保 様
赤澤 悠 様
明石 敏 様
朝比奈美華 様
荒井 大志 様
有田 裕二 様
有村 尚悟 様
安藤 清秀 様
石川浩一郎 様
石橋 佳奈 様
磯見 智恵 様
板垣 祥子 様
伊藤 和弘 様
伊藤 秀明 様
井上 淳史 様
井上 圭一 様
井上 佳子 様
井原 満隆 様
今井 直人 様
岩崎健太郎 様
植木 美鈴 様
上田 恭嗣 様
上原 佳子 様
内田 博之 様
内田 嘉寛 様
宇都木敏浩 様
梅本 修 様
衛藤 社司 様

江森 壽夫 様
扇 和弘 様
大岩 加奈 様
大蔵 美幸 様
岡本 悠子 様
沖 久也 様
荻原 昭人 様
尾崎 由美 様
小畑友里江 様
加藤 成 様
加藤 夕 様
金森 憲一 様
金本 恵明 様
川口めぐみ 様
川尻 智士 様
川戸 栄 様
菅野 真史 様
北出 順子 様
北野 盛一 様
木村 善春 様
窪田 昭一 様
小出 敏一 様
河野 純子 様
河野 康 様
郡 喜美男 様
後沢 誠 様
児玉麻衣子 様
小練 研司 様
小林 誠巳 様
古村 紀子 様
齊藤 輝雄 様
齋藤 弘 様
齋藤 恭志 様
阪井 一人 様

阪口 博之 様
坂根 遼 様
酒巻 一平 様
笹木 俊男 様
笹木 竜三 様
定 清直 様
志田 長 様
洪川 隆浩 様
嶋田 通明 様
清水 史子 様
清水 弘之 様
清水 盛伸 様
下野 幸子 様
杉原 友佳 様
杉本 勇 様
鈴木 啓悟 様
鈴木 富也 様
須藤 哲 様
関谷 君和 様
銭丸 康夫 様
善波 香代 様
田居 克規 様
田海 統之 様
高田 文雄 様
高橋浩一郎 様
高山 知士 様
瀧原 祐史 様
竹川 祐未 様
多崎 俊樹 様
田添 幸嗣 様
立松 芳典 様
田中 昭三 様
田中 波 様
田中 雅毅 様

田中麻奈美 様
田中 幸枝 様
谷 正彦 様
田畑 功 様
田村 太朗 様
塚崎 光 様
津田 眞祐 様
土田 耕三 様
土屋 道照 様
常俊 顕三 様
出倉 義昭 様
堂 裕司 様
徳市 清文 様
徳力 篤 様
栃谷 史郎 様
刀禰 諒子 様
友松 威 様
友松 洋子 様
鳥居 国雄 様
中江 晴彦 様
中川 智和 様
中澤 俊之 様
中田志織乃 様
中田 浩司 様
中村 恒一 様
中村 諭 様
中村ハルミ 様
中村 康孝 様
難波 謙一 様
西尾 良一 様
西田 彰一 様
西脇 壽郎 様
根石 拡行 様
法木 左近 様

法山 雅浩 様
橋本 智哉 様
服部 修次 様
花木 正 様
濱脇 正好 様
半原 芳子 様
久寄 香 様
平田 博教 様
広瀬 真希 様
廣部 舞 様
福井 一俊 様
星野 瞳 様
堀 俊和 様
堀 俊則 様
松岡 達 様
松田 謙 様
松田 安史 様
松村 健大 様
松本 公一 様
眞弓 光文 様
丸雄 潔 様
三上 隆男 様
水谷 哲也 様
皆島 博 様
峯 一仁 様
宮川 才治 様
三宅 誠司 様
宮崎 直之 様
村上 晃 様
森 眞一郎 様
森川 寛之 様
森坂 鶴江 様
保倉 理美 様
山崎 滋孝 様

山崎 広 様
山下 恵代 様
大和 征一 様
山本 雄也 様
吉田 尚旦 様
吉田 祐 様
利内 建一 様
鷲田 泰紀 様
渡辺 襄 様
渡邊 裕子 様
ほか 匿名希望の方 38名

法人・団体

社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 様
医療法人泉壽会 様
MS フォトニクス エンジニアリング 様
株式会社安部書店 様
株式会社熊谷組 様
株式会社ナカテック 様
株式会社法美社 様
ゲンキー株式会社 様
創文堂印刷株式会社 様
第一生命保険株式会社 様
日東シンコー株式会社 様
花咲ふくい農業協同組合 様
福井エフエム放送株式会社 様
福井キャノン事務機 株式会社 様
有限会社ケミカマテリア 研究所 様
ほか 匿名希望1社

福井大学基金の詳細については、
福井大学HPをご覧ください。
<http://www.u-fukui.ac.jp/kikin/>



福井大学基金についてのお問い合わせ先

福井大学基金事務局 〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9-1
TEL 0776-27-9903(ダイヤルイン) FAX 0776-27-8518 E-mail kikin@ad.u-fukui.ac.jp

大学の最新情報をお届け！



FUKUDAI TOPICS

TOPICS 1

8年連続「第1位」となりました 本学の就職率が

2014年度卒業・修了者の全国大学実就職率ランキング(大学通信調査)が、サンデー毎日(2015年7月26日号)で発表され、本学は96.1%と全国平均の84.5%を大きく上回りました。複数学部を有する国立大学において8年連続1位となりました。近年の入学生から、本学を選んだ理由の一つに挙げられるのが、就職率の高さと答える方も多く、8年連続で1位という結果

は、本学の伝統として築かれています。この偉業を支えているのは、先生方が一人ひとりの学生に寄り添って、親身に就職の相談に乗り、またOB・OGの方々が後輩のために、合同説明会や各種訪問でサポートしていただいたことにあります。大橋祐之就職支援室長は「インターンシップや会社訪問も1年生の頃から、行ってみる、やってみる、話してみることがモットーに実際経験してみることが、新しい発見や将来の自分がイメージできます。これからみなさんの就職をサポートしていきますので、気軽に就職支援室に来てください」とみなさんの力強い味方です。本学の就職支援室では、1年生のころから、卒業後の進路について相談に来る学生も多くいます。

企業・官庁等からも、本学学生は非常に高い評価を得ており、採用後の離職率も非常に低いことから、活躍が期待されています。



みなさんの就職をバックアップします

TOPICS 2

「地(知)の拠点大学による 地方創生推進事業(COC+)」に 採択されました

福井大学は文部科学省の2013年度「地(知)の拠点整備事業(COC)」の採択を受け、地域を志向して人を育み、地域を活かす福井の知の拠点づくりに取り組んできました。今年度は、今までの取組を活かした「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に申請し、採択されました(※国公立大学等からの申請56件のうち、採択数40件)。

今回の取組は、福井県立大学、福井工業大学・仁愛大学、敦賀市立看護大学と連携するほか、福井県や商工会議所、企業等と協力し、福井県での新たな雇用の創出と地元就職率の向上を目指します。特に学生のみの

なさんに関わることは、他大学と共同利用するサテライトキャンパスが設置され、「ふくい地域創生士」の認定など、福井県の地域性や特色を活かした学習やインターンシップなど経験の幅が広がります。みなさんが、福井県を好きになり、福井であたたかな可能性を見つめられる機会が多くなっていくと思います。

原子力安全、恐竜による福井ブランドの創出や、まちづくり、看護福祉、繊維・バイオなどを通じ、グローバル展開も見据えながら、産業振興の活性化、優秀な人材の地元定着を狙い、魅力ある大学の知の拠点づくりを進めていきます。



「ハートステーション」で相談室を開放しています

こんにちは。学生総合相談室です。

夏休みも終わり、後期の授業が始まりましたね。学生総合相談室では平日12時～13時まで「ハートステーション」



相談室

で「ハートステーション」という時間を設けて、相談室を1室開放しています。

「少し落ち着いた雰囲気でご飯を食べたい。でも一人で食べるのは何だか味気ないなあ…」という気持ちになったら、ピアサポーターの学生さんや同じ気持ちの人と一緒に、のんびりお喋りしながらご飯を食べてみませんか？他の人の話を聞いているだけでも大丈夫なので、話すのが苦手な人でも安心して利用できますよ。

詳しく知りたい方、利用を希望する方は、学生総合相談室の受付に申し出てください。場所は、生協の2階（書店の斜め前）にあります。直接言うのはちょっと…という人は、まずはメール(Mailing:soudan@ad.u-fukui.ac.jp)でも大丈夫ですので、連絡をください。

車の迷惑駐車は厳禁！自転車は盗難に注意

文京キャンパスは構内の駐車スペースもなく、自動車通学は特別な場合を除いては許可されません。どうしても車を使いたい人は大学周辺に駐車場を借りるようにしてください。なお、大学周辺のスーパーやコンビニには、絶対迷惑駐車をしないでください。迷惑駐車の通報があった場合は、タイヤロックすることもあります。

また、キャンパス内での自転車の盗難が増えています。付いている鍵に加え、チェーン等の鍵を付けるなど、ダブルロックで盗難防止に努めてください。



本冊子の感想を教えてください

広報誌「ふくだいプレス23号」を読んだ皆さんの感想を教えてください。アンケートに回答いただいた方の中から抽選で**10名に2色でかけるマーカー「Beetle Tip(3本6色)」**をプレゼントします。

プレゼント



(実物とは異なる場合があります)

〔応募方法〕

QRコードもしくはURLからご応募ください。
応募締め切り：12月11日(金)
<http://www.u-fukui.ac.jp/m/>



みなさまからのご応募、お待ちしております！

ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの送付、及びお問い合わせ・ご意見をいただいた際のご連絡に使用させていただきます。

編集後記

教職大学院では、毎回の授業を振り返り、次に活かす実践と省察が繰り返行われ、さらにはこれまでの教師人生そのものを振り返るそうです。身近なところで当てはめると、日頃の行動や言動を振り返り、改善していくことに通じるかもしれません。秋の夜長に静かに自分に向き合い、明日への知恵を肥やす。食欲の秋だけに、体重だけは肥やしたくはないですね。

Editor's note

ふくだいプレス 第23号

発行日／平成27年10月 発行者／福井大学広報センター
TEL：0776-27-9733 E-mail：sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp